

大宅壮一文庫 に見る コロナ・パンデミック



大宅壮一文庫 編 山田健太 監修

A5・820頁

定価19,800円(本体18,000円+税10%) ISBN978-4-8169-3012-6 2024年6月刊行

7,420件の記事索引を収録

- 2020年1月から2024年3月まで、大宅壮一文庫所蔵雑誌の「新型コロナウイルス」に関する記事情報が一覧できます。
- 「緊急事態宣言」「3密」「Go To トラベル」「変異株」「ワクチン」などに関する記事索引を収録。雑誌専門図書館がきめ細かく索引化した記事情報が引けます。
- 「発言者索引」「人物索引」「事項名索引」付き。

【編者プロフィール】

大宅壮一文庫

公益財団法人大宅壮一文庫は日本で初めての雑誌図書館である。評論家・大宅壮一の雑誌コレクションを引き継いで、明治時代以降150年余りの雑誌を所蔵している。1971年、大宅壮一文庫はマスコミはじめ各界の援助により設立。雑誌13,500種類、80万冊を所蔵。「蔵書は多くの人が共有して利用できるものになりたい」という大宅の遺志により、雑誌図書館として一般的に開放され、現在では年間約10万人が利用している。

【監修者プロフィール】

山田 健太 (やまだ・けんた)

専修大学文学部ジャーナリズム学科教授。専門は、言論法、ジャーナリズム研究。放送批評懇談会理事、情報公開クリアリングハウス理事等を務める。BPO(放送倫理・番組向上機構)放送人権委員会委員、日本ペンクラブ専務理事、自由人権協会理事・事務局長など歴任。「『くうき』が僕らを呑みこむ前に一脱サイレント・マジョリティー」(2023 理論社)など著書多数。

「解説」より

街から人影が消え、自粛の嵐が吹き荒れ、五輪が延期・無観客となり、マスクが常態化し、学校も職場もオンラインとなり、国民総ワクチン接種を実施し、そうしたなかで長く続いた安倍政権が終わり、その後の短命内閣のさなかに銃撃事件が起き、多くの人が職を失い経済格差や子どもの貧困が進み、政治的に原発再稼働や軍事国家が進んだこの4年間。

雑誌記事見出しを追って改めて振り返るならば、間違いなく時代の大きな転換点ではあった。それは単にコロナが流行ったというだけではなく、その前後で人の生活・行動・思想の様式を変えたと思われるからだ。そうした変化を浮き彫りにするのが雑誌記事の集積であり、日本で唯一の雑誌アーカイブズである大宅文庫の力だ。(中略)多種多様な雑誌群により多面的な社会の各側面を照射するものになっている。今後、このコロナ時代を振り返る際の基礎資料の「入り口」として有意義なだけでなく、文芸作品や映像ドキュメンタリーなどを制作する際の、貴重な素材を提供することになるだろう。

山田健太(専修大学ジャーナリズム学科教授=言論法)

※「内容見本」「注文書」は、裏面をご覧ください。

2020年(令和2年)

「大宅壮一文庫に見るコロナ・パンデミック」 内容見本

2020.1

ニューズウィーク日本版 1月21日号
0001 アジアに迫るパンデミックの脅威 中国 SARSの記憶がよみがえる新型肺炎の流行 見えない正体と少な過ぎる情報が地域を翻弄する ※武漢を中心に感染拡大 [ローリー・ギャレット] p30~33

AERA 1月27日号
0002 医療 新型コロナウイルスによる肺炎が日本上陸 医療者に感染なら強力 ※ヒトから感染の可能性 p24

週刊大衆 1月27日号
0003 特盛ニュースワイド 全力真相 中国発「謎の大流行」もニッポン流入? 「死ぬ肺炎」スーパー危険兆候 死因激増の驚くべき理由 p68~69

SPA! 1月28日号
0004 今週の顔 中国・武漢市発「新型コロナウイルス」の本当の怖さ 日本でも「初」の感染者が。「春節」大型連休で感染リスク増大 水際作戦ではなく、封じ込め対策が問題 p4~5

ニューズウィーク日本版 1月28日号

オ/トウガラシ] p17
0006 中国の肺炎対策は(合格点 謎の新型肺炎発症1月で原因ウイルスを特定伝子情報を世界と共有しきい ※新型コロナウイルス エル・ルーシー/アニー p30~32

週刊文春 1月30日号
0007 池上彰のそこから 中国で再び新型肺炎生じた新型コロナウイルス時の中国当局の隠蔽、他 p40~41

0008 「麒麟がきた」新型肺炎発表はやっぱりウソばっ

女性セブン 1月30日号
0009 スクープワイド 9のぐ? 「春節」に30億人大観光客が運ぶ殺人ウイルスで59人が原因不明の肺炎の患者から新型コロナウイルス検出された p36

2020.2

紀/萩原博子/森本英世/他] p105~107

2022.5

潮(潮出版社) 5月号
6662 危機の時代を生きる視点 ポストコロナを見据える大分大学の使命と役割 西洋式医療の伝統根差す「知の拠点」。世界に開かれた進取の気性に迫る ※レプリコンワクチンの開発 [北野正剛] p48~55

科学 5月号
6663 3.11以後の科学リテラシー 113回 ※発表された新型コロナウイルスの新規陽性者数が3月後半まで非常にゆっくりとした減少を示していたことからわかることを検討 [牧野淳一郎] p407~410

紙の爆弾 5月号
6664 コロナ禍2年の経済無策に思う いまの政府では「有事」に国民を守れない ※自民党前衆議院議員・安藤裕氏に、いま本当にすべき経済対策とは何かを聞く<インタビュー> [安藤裕/林克明] p40~46

激流 5月号
6665 コロナレポート「まん防」全面解

減か目的を明確にして接種することが重要だ p10~11

実話ナックルズ 5月号
6667 「ムショよりシャバのほうが怖い」 その死は、突然やってきた 或る元受刑者のコロナ死 誰にでもあり得る ※「犯罪者ピフォーアフター」でかつて取材した府中刑務所元受刑者<グラビア> p3

世界 5月号
6668 分水嶺・2 コロナ緊急事態と専門家 9回 リスク評価、リスク管理 ※和歌山県と奈良県の新型コロナ対策、基本的対処方針分科会の取り組み [河合香織] p262~271

選択 5月号
6669 税金はどこに消えたのか コロナ医薬品開発「国産全滅」の裏側 ※「安全保障」という方便 資金が有り余る「アンジェス」 p82~83

中央公論 5月号
6670 私がまん延防止等重点措置延長に反対した理由 社会経済活動より感染対策を重視して私たちが失ったもの ※新型コロナウイルス感染症対策 [大竹文雄] p102~109

FACTA 5月号

事項名索引

【あ】

愛煙家

2020.4 0795

IOC(国際オリンピック委員会)

2020.5 1124

アイスランド

2020.12 3759

愛知県

2020.5 1309 2020.6 1987

「愛は地球を救う」

2021.8 5546

アイリスオーヤマ

2020.8 2776

秋入学制

2020.5 1323

項目事例

・発言者索引

岡田,晴恵 尾身,茂 西浦,博 ファウチ,アンソニー 松本,幸四郎

・人物索引

シャビン,ウール(腫瘍学者 免疫学者) 鍾,南山(医学者 衛生学者) 勝,武士,幹士(大相撲力士) 唐,鳳(オードリー・タン 台湾デジタル相) 方方(「武漢日記」著者) 宮地,正彦(中東遠総合医療センター院長) 山中,伸弥(再生医療 京都大学再生医科学研究所) 李,文亮(武漢の医師)

・事項名索引

アクリル板 アナフィラキシー アベノマスク アマビエ 大相撲5月場所 オンライン飲み会 基礎疾患 休業補償 緊急事態宣言 Go To トラベル 3密 塩野義製薬 自衛警察 時短協力金 実効再生産数(Rt) 集団免疫 Zoom 接触確認アプリ「COCOA」 ソーシャル・ディスタンス ダイヤモンド・プリンセス号 定額給付金 デリバリー(宅配料理) 東京オリンピック延期問題 入国制限 ベーシック・インカム 変異株-オミクロン株 保健所 まん延防止等重点措置 ワクチン懐疑論 ワクチン副反応

202405

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局**

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

注文書

大宅壮一文庫に見る
コロナ・パンデミック

定価19,800円(本体18,000円+税10%)
ISBN978-4-8169-3012-6

取扱書店

冊



9784816930126